

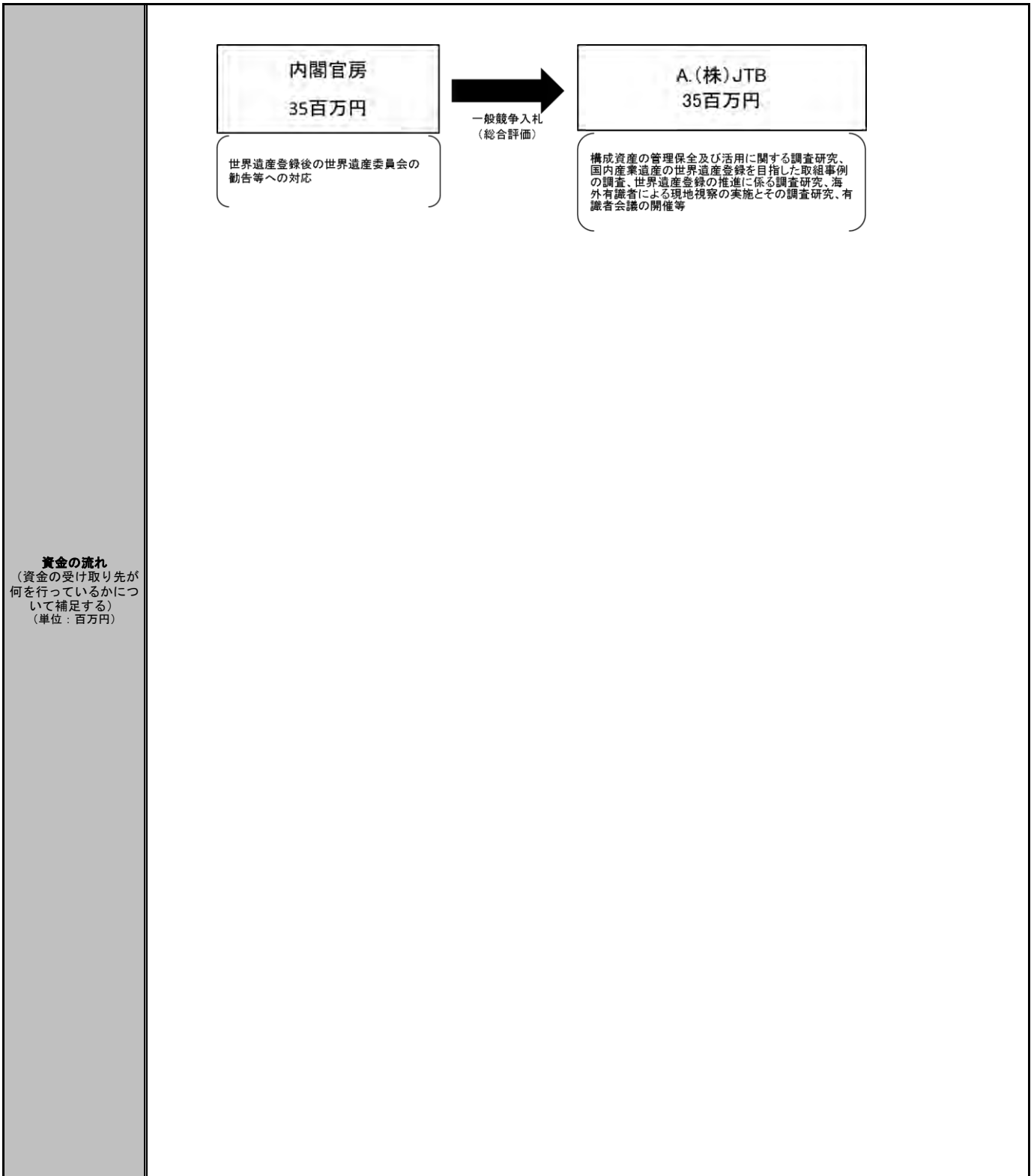
事業番号

2023 - 官房 - 22 - 0009

令和5年度行政事業レビューシート				( 内閣官房 )								
事業名	地域活性化推進経費			担当部局庁	内閣官房副長官補	作成責任者						
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	産業遺産の世界遺産登録推進室	参事官 岸本 織江						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群を世界遺産登録に向けて推薦する場合の取扱い等について(H24.5.25閣議決定)							
政策												
施策												
政策体系・評価書URL				主要経費	その他の事項経費							
事業の目的 (5行程度以内)	平成27年7月の世界遺産委員会において世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に対する世界遺産委員会の勧告等を踏まえ、資産を保全・活用するための調査・研究を行うことを目的とする。											
現状・課題 (5行程度以内)	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、第39回(平成27年)、第42回(平成30年)及び第44回(令和3年)ユネスコ世界遺産委員会において、構成資産の保全活用やインタープリテーションに関する勧告が決議され、それらの確実な履行を求められている。また、令和5年9月に開催の第45回世界遺産委員会で令和4年11月に提出した保全状況報告書について審議されるため、決議に対し迅速に対応する必要がある。											
事業概要 (5行程度以内)	平成27年7月の世界遺産委員会において世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に対する世界遺産委員会の勧告等に対し、専門的見地から指導助言を行う有識者会議を開催するとともに、必要となる情報の収集等のための調査等を行う。また、資産の保全・活用に係る調査・研究を行う。											
事業概要URL												
実施方法	委託・請負											
補助率等												
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	171	令和3年度	71	令和4年度	51	令和5年度	52	令和6年度要求	53
		補正予算(B)		-		-		-		-		-
		前年度から繰越し(C)		-		40		-		-		-
		翌年度へ繰越し(D)		▲ 40		-		-		-		-
		予備費等(E)		-		-		-		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		131		111		51		52		53
		執行額(G)		102		80		35				
		執行率(%) =(G)/(F)		78%		72%		69%				
		当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		60%		113%		69%				
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)					
(項)	内閣官房共通費											
(目)	諸謝金		52	53								
	その他											
		計(A)	52	53								

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)		平成27年7月の世界遺産委員会において世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に対する世界遺産委員会の勧告等を踏まえ、資産を保全・活用するための調査・研究等を行う。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績</b> ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		保全活用のための調査・研究等	有識者会議等の開催数	活動実績	回	3	4	7	-	-
				当初見込み	回	3	3	3	3	3
↓		<b>成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b> 有識者会議及び意見交換を開催し、国内外の有識者からの指導・助言を得ることによって、各構成資産の保全管理課題に対する適切な改善策をたてることができ、保全管理課題の解消へとつながるため、成果目標として、各構成資産の保全管理に関する課題解決を設定した。								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		各構成資産の保全管理に関する課題解決	当該年度に求められる遺産影響評価プロセスの完了	成果実績	%	100	100	100	-	
				目標値	%	100	100	100	100	
				達成度	%	100	100	100	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		該当事案が発生した都度、有識者会議への諮問や意見交換を通じ、国内外の有識者からの指導・助言を得て、スクリーニングや影響評価を実施し、世界遺産登録後に必要なプロセスを実施している。 R2.12 5件 R3.3 3件 R4.11 4件								
↓		<b>成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</b> 各構成資産の保全管理課題に適切に対応し、課題を解決することで、世界遺産としての価値が保全されるため、成果目標として世界遺産価値の保全を設定した。								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		世界遺産価値の保全	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		世界遺産登録時(平成27年)から引き続き世界遺産リストに登録されており、世界遺産としての価値を保全し続けている。								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		世界遺産としての価値の保全は、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
<b>事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等</b>	名称									
	URL									
	該当箇所									





**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が  
 何を行っているかにつ  
 いて補足する)  
 (単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	研究員	14			
事業費	調査研究費	21				
計		35	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						<input type="checkbox"/> チェック

**支出先上位10者リスト**

A.

No.	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社JTB	8010701012863	令和4年度「明治日本の産業革命遺 産」保全活用等に係る調査研究	35	一般競争契約 (総合評価)	1	-	予定価格が類推される恐れがある ため、落札率は記載していない。